

全世界で人気、不思議なりんごの夢のメルヘン



1998年カンヌ映画祭〈ある視点〉正式選出作品

1998年ニューヨーク映画祭招待作品

東京国際映画祭正式出品

ロンドン映画祭招待作品

サミラ・マフマルバフ監督作品

# the Apple

سیب

その日 マスメとザーラは  
生まれて初めて家を出て  
夢の世界への冒険に出発した…  
実話から美しいメルヘンが誕生  
18才、イランの天才少女監督サミラの第1作

●監督サミラ・マフマルバフ、脚本・編集モフセン・マフマルバフ、撮影エ  
ブラヒム・ガフリ、モハマド・アーマディ、スチル=メイサム、マフマルバフ、  
助監督マルシエ・メシキニ、アクバル・メシキニ、音楽=イラン伝承音楽、  
製作マリオン・カルミッツ、ヴェロニーク・ケイラ ●ナデリー一家の本人  
たち(姉マスメ、妹ザーラ、父ゴルバナリ、母ソグラ)ほか ●1998年イラン・  
フランス・オランダ合作、イラン映画(ペルシア語)/製作MAKHMALBAF  
PRODUCTIONS、MK2 PRODUCTIONS/製作協力HUBERT  
BALS FUND(ROTTERDAM INTERNATIONAL FILM  
FESTIVAL)/ ©MK2 PRODUCTIONS & MAKHMALBAF  
PRODUCTIONS 1998

フランス映画社配給  
ハウ・シリーズ作品

mk2  
production





●全世界で話題の、18才の少女監督サミラの長編第1作。不思議なりんごに誘われて、二人の少女の夢が、みずみずしく展開する奇跡のメルヘン！



「りんご」はイランのサミラ・マフマルバフの長編第1作。テレビのニュースが伝えたひとつの事件に衝撃を受け、自分の目で確かめようと事件の人々に会いに行き心をつたえ、撮影しているうちに、ドキュメンタリーがメルヘンに飛翔し、現実と夢とがとけあう、みずみずしい魅力にあふれた映画が誕生した。事件というのは、12才の双子の少女が父親に監禁されて生まれてから一度も家の外に出してもらえず、隣人たちが署名運動を起こして社会福祉事務所が二人を救済したというもの。テレビも新聞も、少女二人を憐れみ、両親を非難していた。

97年夏のテヘラン。ナデリー一家の父母は、2度と家に鍵をかけて娘たちを閉じ込めないと約束して、12才の双子の娘マスメとザーラを返してもらおうが、父親は鍵をかけて外出することをやめない。約束と違うとソーシャルワーカーが父親を責めるが、母親は目が不自由で、鍵をかけぬわけにいかない事情がある。ソーシャルワーカーは娘たちを遊びに出してやり、鍵を奪って父親を家に閉じ込める。二人の少女に、外の世界が夢のように訪れる…

●サミラの純粋な情熱が、少女たちの思いを、美しいファンタジーに昇華させた！



サミラは、アッバス・キアロスタミとならんでイランを代表する監督モフセン・マフマルバフの長女。事件を知った頃は助監督として父の新作を準備中だったが、ナデリー一家にあって、これこそ自分が映画にすべきだと確信。父の新作用のフィルムと撮影機材を借りて、撮影に入った。正式の製作許可を申請しても何年もかかる場合があるから待つてはられない。

準備した脚本ではなく、撮影しては翌日のプロットを立てて行くスタイルで撮り、ナデリー一家の父が話すことがストーリーの柱になった。撮影は延べでわずか11日。父モフセンは撮影現場に一切立ち会わず、サミラは撮影した膨大なフィルムを、半年かけてモフセンと編集し、完成した「りんご」は、98年カンヌ映画祭<ある視点>正式出品作に選ばれた。カンヌ映画祭史上最年少の長編映画監督の誕生だった。わずか18才で、可愛い美貌で、世界の脚光を浴びている元気いっぱいの人新監督だ。

# りんご



サミラ・マフマルバフ  
監督作品

●可愛い少女たち、出演は全員が本人

マスメとザーラが可愛い。この12才の双子の少女をはじめ、父親も、ヴェールで顔を見せない母親も、全員が本人たちの出演で、もちろん初めての映画出演。公園で仲よくなってマスメにりんごでぶたれる少女姉妹もサミラのいとこたちで、時計屋はサミラの祖父。家族を総動員して作った映画で、父モフセンに脚本と編集を、弟メイサムにステルカメラマンを担当させ、父モフセンが準備中だった作品の撮影と録音のチーフを借りてスタッフを組んだ。

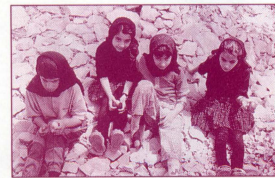
カンヌ映画祭でめざましいデビューを飾ったサミラは、ロカルノ映画祭では審査員をもつとめ、「りんご」は世界中の国際映画祭でひっぱりだこ。サミラ自身、ヨーロッパからアメリカのテラロイドに、ニューヨークに、アフリカのカルタゴに飛び、東京で人気をさらってロンドン、ギリシャのテサロニキに飛ぶ忙しさ。<時の人>になっている。



●カンヌをはじめ世界が絶賛！シンプルさが胸を打つ、珠玉の映画に、熱い称賛の声！

♥テーマはシンプルに、明快に、ダイレクトに、そして楽観的に語られる。「りんご」は総合性を持った美しい映画で、若き監督サミラの今後を確実に約束している。——レ・ザンロキユプティール誌  
♥シンプルシティーとソフィスティケーションの神秘的な練金術、登場人物たちを原石から宝石に輝かせ、愚かしい残酷な話に真珠の心を与える、めざましい仕事がこの「りんご」という映画でなされている。——ル・モンド紙、ジャック・マンデルポー  
♥「りんご」は現実とフィクションの混合から絶妙な味を引きだす。真摯でナイーブな目が、社会から不当と糾弾される行為を正当とする父親の災難に、ほとんど話せず感情も表現できない少女たちに、そして、ついに一歩外に踏み出して禁じられた果実に触れようとする目の不自由な母親に深く注がれ、その時、りんごは1個の栓を抜いた手榴弾にさえ見える。——ブルミエール誌、エリック・リビオ

1998年カンヌ映画祭  
<ある視点>部門正式選出  
●ニューヨーク映画祭招待●東京映画祭正式出品●ロンドン映画祭招待作品



●監督=サミラ・マフマルバフ、脚本=編集=モフセン・マフマルバフ、撮影=エブラヒム・カブリ、カメラマン=レザ・シェイヒ、ステル=メイサム・マフマルバフ、助監督=マルジェ・メスキニ、録音=ペールズ・シャハマト、音楽=イラン伝承音楽、エグゼクティブ・プロデューサー=イラジュ・サルバズ、製作=マリヤン・カルミツツ他●マスメ、ザーラ、父コルバナリ、母ゾグラ(ナデリー一家)、ソーシャルワーカー=アジゼ、モハマディ●1998年イラン・仏・蘭合作、イラン映画(ベルシヤ語)/製作&© MK2 PRODUCTIONS & MAKHMALBAF PRODUCTIONS 1998 / 製作協力 HUBERT BALS FUND (FESTIVAL INTERNATIONAL DU FILM DE ROTTERDAM) / 全5巻、2,341M、1×1.85、モノラル、1時間26分/日本語字幕=齋藤敦子、字幕及びプレス資料監修協力=ショーレ・ゴルバリアン、宣伝デザイン=小笠原正勝

昨年の東京国際映画祭でも大人気！18歳の少女監督アミラの『りんご』、新緑ロードショー！！

4/17(土)～30(金) ロードショー！！

連日 11:30 1:20 3:10 5:00 6:50 当日/一般1800円、大学生1500円、特別鑑賞券1500円好評発売中！！ 高校生1300円、中・小・シニア1000円

シネ・ヌーヴォ九条/梅田劇場窓口でお買い求めの方、先着100名様に、ポスタープレゼント！

シネ・ヌーヴォ

地下鉄中央線「九条駅」16番出口下車  
大阪ドーム方向へ徒歩2分  
TEL06-6582-1416

地下鉄中央線				→本町
九条駅				
←大阪港	ブルーモーター	ナルド	6番出口	→本町
		パチオメカ	アンテナ	
シネ・ヌーヴォ	交感	パチオメカ	アンテナ	
		パチオメカ	アンテナ	
大阪ドーム			アンテナ	